

6. 18
2346

大和運輸に業界へ
ベテル入を放逐せよ!!

最も憎むべき恩讐な名ヤ同僚取手業として大和運輸会社は昭和四年京橋の一角木挽町に宣々のアトリエを出しある。二つの食慾飽くなう、旅館の下に全二百の従業員は馬鹿されて未古の古びたが、運送は唯柔順に奴隸の如くに動いて未古全従業員詰言!
諸君は二、三月に手を当て、よく考へて見て呂が俺達が血と汗に未み水飢之と寒ニアヘグ時彼等重役共は一体何をしてゐるのば、新線拡張のためと稱しては各地に出没してドンマン服を身を以つておる。最近は群馬県館林の某料亭、紅燈の巷に萬華を現し、藝妓の酒杯と藤枕はウツとぬかれ大豪遊を極め、場向の果ては新車購入の資金を胡麻化レヒト、小話を聞いてお方更に彼等の魔手は可憐な一女事務員の上に追ひ、その後始末は困つて金をつけて従業員に押付けノホ、ソとしておる二札が奴等のハシタ族主義を相合、諸君が少く毎月賃制の公会員を徵集して如何専用公会「親和会」なるモ一回体は奴等の嘘物でありその証據には未だ且つて会計報告を一度もつづけ左ニシカナハ、二回も小倉事務の豪族主義の一つ古ヒリニト右、何と虫のい微塵し左豪族主義からう
其昌葉所では従業員の收入と並び歩合の着取、豪見の運易業局全の横領、得意先を以てした象貝を従業員に高價で強制的に賣つて有利となり、國外労働賃銀を支拂はず著服して振れ、顔をしき見古り度々クニハク列挙する子でもなく諸君等は最も良く知レルエ名だウラ
今日は人の身明日は我が身の上を
此後は今始める精实傳業局甚く一部の因襲的觀念を
既破クイ奴等ハケルスを徹底的口づめす迄致下の左
大和に働く全従業員詰言!・起て!
起て即時從業員大會を開け!
諸君の不平不滿を会社にタキつけろ!
労働者を喰物にする悪事改をタタキ去せ!
大和運輸事議団に参加しろ!

三月三十日(土)

山鶴吉

三月九日

大和運輸事議団本部

寸対策ナク有

京橋区田町三丁目

八度の居ルモ最初、自説ヲ固執シ毫モ譲歩スル模様ナレ